

製品名: CaMKII (リン酸化スレオニン 286) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86145**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、1% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	CaMKII (Phospho-Thr 286)
別名	Calcium/calmodulin dependent protein kinase II alpha antibody</br> Calcium/calmodulin dependent protein kinase II beta antibody</br> Calcium/calmodulin dependent protein kinase II delta antibody</br> Calcium/calmodulin dependent protein kinase II gamma antibody</br> Calcium/calmodulin-dependent protein kinase type II subunit alpha antibody</br> CaM kinase II alpha antibody</br> CaM kinase II antibody</br> CaM kinase II beta antibody</br> CaM kinase II delta antibody</br> CaM kinase II gamma antibody</br> CaM kinase II subunit alpha antibody</br> CaMK-II subunit alpha

antibody</br> CAMK2 antibody</br> Camk2a antibody</br> CAMK2B antibody</br> CAMK2D antibody</br> CAMK2G antibody</br> CAMKA antibody</br> KCC2A_HUMAN antibody</br>

遺伝子 ID 815;
SwissProt ID Q9UQM7
免疫原 ペプチド

背景

Ca²⁺/カルモジュリン依存性プロテインキナーゼ (CaM キナーゼ) は、CaMKI、CaMKII、CaMKIV を含む、構造的に関連するセリン/スレオニンキナーゼのサブファミリーを構成します。CaMKII は、Ca²⁺とカルモジュリン (CaM) によって活性化される、普遍的に発現するセリン/スレオニンプロテインキナーゼであり、細胞周期と転写の調節に関与しています。CaMKII アイソザイムには、α、β、γ、δ の 4 種類があり、これらは同じ組織型で共発現する場合としない場合があります。CaMKIV は Ca²⁺と CaM によって刺激されますが、完全な活性化には CaMK によるリン酸化も必要です。抗 CD3 モノクローナル抗体による T 細胞受容体 CD3 シグナル伝達複合体の刺激は、CaMKIV 活性を 10~40 倍に増加させます。追加のキナーゼである CaMKK は、位置 177 の調節スレオニン残基の特定のリン酸化を通じて CaMKI を活性化するように機能します。

研究分野

-

画像データ



未処理 (A) およびラムダホスファターゼ処理 (B) ラット脳組織抽出物における p-CaMKII リン酸化のウェスタンブロット分析。